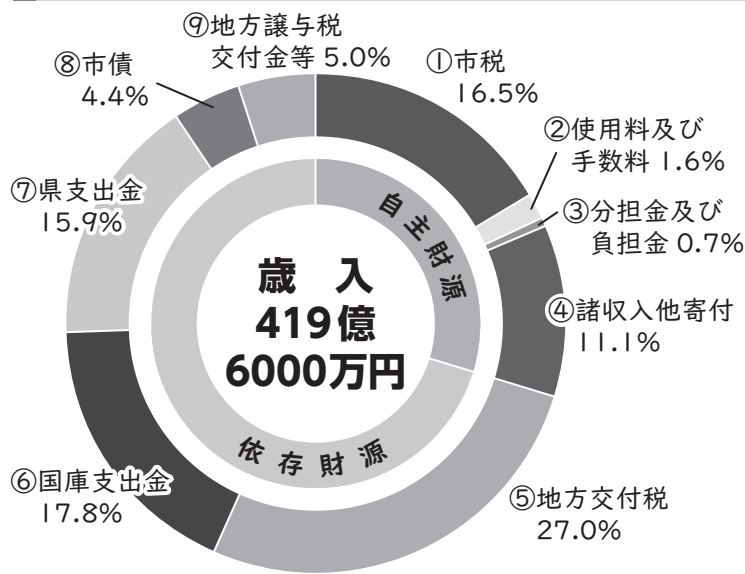


一般会計歳入



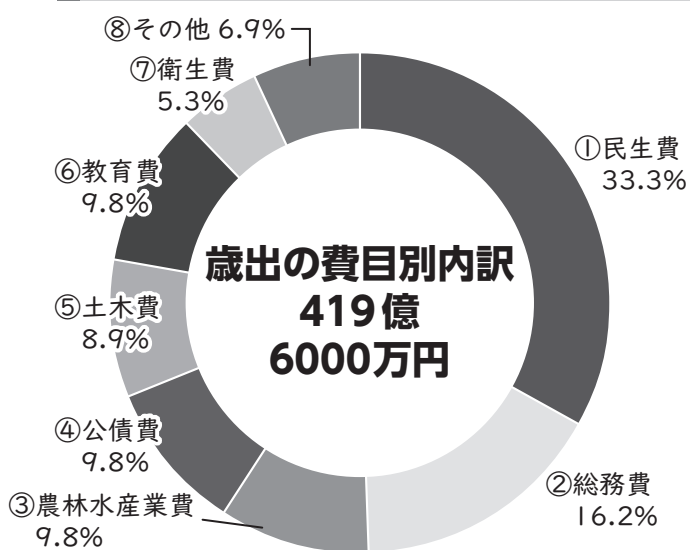
自主財源

- ①市税：69 億 379 万 4 千円 (16.5%)
- ②使用料及び手数料：6 億 8065 万 6 千円 (1.6%)
- ③分担金及び負担金：3 億 372 万 8 千円 (0.7%)
- ④諸収入他寄付：46 億 8369 万 2 千円 (11.1%)

依存財源

- ⑤地方交付税：113 億 2551 万 7 千円 (27.0%)
- ⑥国庫支出金：74 億 7304 万 5 千円 (17.8%)
- ⑦県支出金：66 億 5418 万 1 千円 (15.9%)
- ⑧市債：18 億 3050 万円 (4.4%)
- ⑨地方譲与税交付金等：21 億 488 万 7 千円 (5.0%)

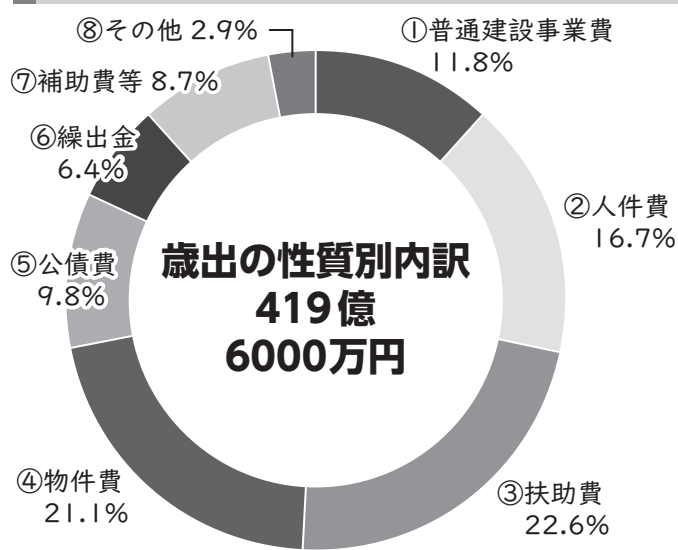
一般会計歳出(費目別)



費目別

- ①民生費：139 億 6874 万 8 千円 (33.3%)
- ②総務費：68 億 1173 万 6 千円 (16.2%)
- ③農林水産業費：41 億 3044 万 6 千円 (9.8%)
- ④公債費：41 億 1017 万 5 千円 (9.8%)
- ⑤土木費：37 億 918 万 7 千円 (8.9%)
- ⑥教育費：41 億 2845 万 5 千円 (9.8%)
- ⑦衛生費：22 億 184 万 9 千円 (5.3%)
- ⑧その他（消防費・商工費など）：28 億 9940 万 4 千円 (6.9%)

一般会計歳出(性質別)



性質別

- ①普通建設事業費：49 億 4786 万 9 千円 (11.8%)
- ②人件費：69 億 9621 万 8 千円 (16.7%)
- ③扶助費：94 億 9764 万 1 千円 (22.6%)
- ④物件費：88 億 4336 万 2 千円 (21.1%)
- ⑤公債費：41 億 1017 万 5 千円 (9.8%)
- ⑥繰出金：26 億 9939 万円 (6.4%)
- ⑦補助費等：36 億 5673 万 4 千円 (8.7%)
- ⑧その他（維持補修や予備費など）：12 億 861 万 1 千円 (2.9%)

※端数処理の関係上、構成率の計は 100% にならない場合があります。

3 宮古島市の市外局番は(0980)です。



令和7年度
宮古島市

当初予算

2024(R6)年度 一般会計予算額

422億 2200万円

2025(R7)年度 一般会計予算額

419億 6000万円

※対前年度比 -0.6% (2 億 6200 万円減)

各会計予算総括表

会 計 名	当 初 予 算 額	増減率
一 般 会 計	419 億 6,000 万円	△ 0.6%
特 別 会 計	148 億 3,859 万 2 千円	2.3%
国民健康保険事業特別会計	74 億 8,875 万 5 千円	3.1%
港湾事業特別会計	6 億 225 万 7 千円	△ 3.4%
介護保険特別会計	58 億 8,993 万 4 千円	0.2%
後期高齢者医療特別会計	7 億 701 万円 6 千円	12.1%
再生可能エネルギー運営事業特別会計	1,550 万 5 千円	△ 12.3%
土地区画整理事業特別会計	1 億 3,512 万円 5 千円	50.0%

Point!

予算の特徴

令和7年度当初予算は、歳入歳出総額 419 億 6000 万円となっており、対前年度比で2億6200万円の減、率にして0.6%の減、となっております。令和6年度で、し尿処理施設整備事業が完了し、投資的経費が大幅減となりましたが、脱炭素先行地域づくり事業、人事院勧告に基づく人件費の増などにより、前年度に次ぐ、3番目の予算規模となっております。

歳入面では、市税が約2億1093万円の増の、約 69 億379万円、国庫支出金が約3億5068万円の減の、約 74 億7304万円、市債(※1)は約 11 億2563万円の減の、約 18 億3050万円となっております。繰入金は約 7972万円の減の、約 30 億381万円となっており、主な要因はふるさとまちづくり応援基金繰入金で、約 11 億円を取崩して事業費に充当しております。

歳出面では、投資的経費は、し尿処理施設の整備完了などにより約 29 億円の減、義務的経費は、人事院勧告に基づく人件費の増、法改正による児童手当の拡充などにより約4億円の増、その他の経費で、脱炭素先行地域づくり補助金の8億円、ふるさとまちづくり応援基金積立金の6億円などにより、約 22 億円の増となりました。

予算総額の収支不足に対しては、昨年度に引き続き財政調整基金や特定目的基金からの繰り入れを行うとともに、普通建設事業に対しては市債発行により財源を確保し予算編成を行っております。

(※1)市債は、世代間公平性(道路や学校等、長い間使用される施設の建設費用にあてられた市債は、耐用年数等を参考に長い間(約 20 年前後)分割して返済することにより使用する世代で公平に負担していただく)の観点と、市債の種類によっては元利償還金(返済金)の一部が地方交付税として国から交付(手当)されている点から通常のローンとは違う点にご留意ください。宮古島市はほとんどが地方交付税が交付される市債による借入を行っています。



第七代 宮古島市副市長へ就任 砂川 朗副市長

プロフィール
【生年月日】 昭和 44 年 7 月 6 日(55 歳)
※令和 7 年 4 月 1 日現在

【出身地】 沖縄県宮古島市

【略 歴】
昭和 63 年 3 月 沖縄県立宮古高等学校普通科卒業
平成 4 年 3 月 亜細亜大学法学部法律学科卒業
平成 4 年 4 月 下地町役場総務課（臨時職員）
平成 9 年 8 月 下地町役場採用保健福祉課
平成 15 年 5 月 下地町役場総務課財政係
平成 17 年 10 月 宮古島市役所下地支所事業推進班
平成 18 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課財政係
平成 21 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課財政係長
平成 25 年 4 月 宮古島市役所総務部
財政課長補佐兼財政係長
平成 26 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課長補佐
平成 28 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課主幹
平成 29 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課長
令和 2 年 4 月 宮古島市役所総務部財政課次長兼課長
令和 3 年 4 月 宮古島市教育委員会教育部教育総務
課次長兼課長
令和 4 年 4 月 宮古島市農林水産部長
令和 5 年 4 月 宮古島市観光商エススポーツ部長
令和 7 年 4 月 第 7 代宮古島市副市長就任

【趣 味】
●読書
多いのは経済小説ですが、特にジャンルは問わ
ず、小説から時事ものまで興味を引くタイトル
があれば手に取ってから決めます。
●たまにウォーキング
●テレビでのスポーツ観戦
機会があれば会場にも行きます。

5 宮古島市の市外局番は(0980)です。

令和七年四月一日付けで宮古島市副市長に就任しました砂川朗です。
副市長就任は、大変光栄であるとともに、改めて職責の重さに身の引き締まる思いです。
私は、平成四年に大学を卒業すると同時に故郷の宮古島に戻り、当時の下地町役場に臨時職員として勤務し、その後下地町役場の職員採用を経て、平成十七年の五市町村合併により宮古島市が誕生してから総務部財政課、教育委員会教育総務課、農林水産部、観光商エススポーツ部と三十三年間市職員として行政に携わってきました。これから、副市長として嘉数市長が掲げる公約の下、市民が実感できる市民福祉の向上、宮古島市の発展に向けスピード感をもって進めてまいります。
今年は、合併してから市政二十周年の節目から、

目の年であり、各部署において多くの新規事業も予算化され、また関連したイベント等も予定されています。事業実施に向けては、市役所全体で連携し、これからの未来のものと豊かで明るい宮古島をイメージし、次の十年二十年さらにその先へと引き継ぎ、いつまでも住み続けたい宮古島市となるよう取り組んでまいります。
本市の様々な課題や施策への取り組みについては、解決と成果に結びつけられるよう市長を先頭に各部署と連携し、補佐役調整役として取り組んでまいります。
市民の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和七年四月一日
宮古島市副市長
砂川 朗

2025(R7)年度 一般会計当初予算を家計に例えると…

2025(R7)年度
宮古島市 一般会計当初予算

収 入

市税	69 億 379 万 4 千円
負担金・使用料など	26 億 6426 万円
地方交付税・地方譲与税・各種交付金	134 億 3040 万 4 千円
国・県支出金	141 億 2722 万 6 千円
市債	18 億 3050 万円
繰入金	30 億 381 万 6 千円
合計	419 億 6000 万円

支 出

人件費	69 億 9621 万 8 千円
物件費など	88 億 4336 万 2 千円
投資的経費・維持補修費	54 億 9951 万 5 千円
扶助費	94 億 9764 万 1 千円
補助費等	36 億 5673 万 4 千円
公債費	41 億 1017 万 5 千円
積立金・貸付金など	6 億 5696 万 5 千円
繰出金	26 億 9939 万円
合計	419 億 6000 万円

資産状況

2025 (R7) 年度末見込み	
基金残高 (見込)	123 億 5684 万 4 千円
市債残高 (見込)	371 億 675 万 4 千円

ま と め

2025（令和 7 年）年度の予算について、歳入では自主財源が前年度と比較して約 13 億 5 千万円の増となっております。主要因としては、市税が約 2 億 1 千万円の増、寄附金が約 12 億 1 千万円の増となっております。
依存財源は前年度と比較して約 16 億 1 千万円の減となっております。主要因としては、国庫支出金が約 3 億 5 千万円の減となっているところによりです。市債においては、前年度より約 11 億 2 千万円減の約 18 億円で予算措置しております。市債の予算措置に関しては建設事業の予算措置に依存される為、宮古島市長期財政ビジョンにて年度間の平準化を図っております。また、総務省が定める健全化判断比率の基準を超えることがないように調整しています。
合併後これまで、普通交付税の算定替（合併後の一定期間、普通交付税が通常より多くもらえる計算方式）により決算で黒字となった分の一部については、算定替期間終了後の財源不足に対応する為、財政調整基金に積立してきました。2019（H31）年度当初予算よりその財政調整基金を取り崩して予算化しており、引き続き財政調整基金からの繰り入れ及び市債発行により財源を確保し予算編成を行っています。
令和 7 年度においても、市民サービスの向上に向け、予算化した各種事業の着実な実施、適切な予算執行に努めて参ります。

一年分の家計
(年間必要生活費 500 万)

収 入

給料	約 82 万円
臨時（パート）収入	約 32 万円
仕送り	約 160 万円
特別仕送り	約 168 万円
ローン借り入れ	約 22 万円
預貯金取り崩し	約 36 万円
合計	約 500 万円

支 出

食費	約 83 万円
光熱水費、通信費	約 105 万円
自宅増改築、修繕	約 66 万円
医療費、保険料、介護サービス、利用料等	約 113 万円
子どもへのこづかい、教育費、自治会費など	約 44 万円
ローンの返済	約 49 万円
預貯金への積立	約 8 万円
こどもへの仕送り	約 32 万円
合計	約 500 万円

資産状況

家計に例えた場合	
預貯金総額	約 147 万円
ローン残高	約 442 万円